

本年度、赤平市は市制施行70周年を迎えます。そこで北海道を中心に幅広く活躍する「鈴井 貴之氏」をお招きし、これからのまちづくりについて対談しました。

### あかくる 赤黒のイメージカラー

**畠山市長** お忙しい中、まちづくり対談にお越しいただき、ありがとうございます。

本年、赤平市が市制施行70周年というところで、北海道コンサドーレ札幌(以下コンサ)とまちづくりの協力連携を結ぶ予定です。

赤平市の市名に赤があることと石炭の黒のイメージがあり、コンサドーレカラーと一緒にということもありまして、先日、赤黒のまちづくり事業実行委員会(以下委員会)が設立され、色をまちづくりにつなげていこうと取り組んでいるところです。鈴井さんもこの取り組みに携わっていただいているとお聞きしております。

**鈴井会長** 僕も今年でコンサの社外取締役として携わらせていただいて3期目になり、委員会にもアドバイザーとして参加しております。

コンサもサッカークラブチームということだけでなく、北海道に根

差して、地域のために取り組んでいこうとしており、いくつかの市町村と地域協定を結んでいます。

この取り組みをさらに広げるため、他のまちも地域協定の候補にあがっていますが、赤平市は市名の赤と、黒いダイヤモンドの黒で一番赤黒のイメージがあり、コンサの赤黒のチームカラーと同じです。また、2015年にドラマ「不便な便利屋」を幌岡の山で撮影した時に一つの象徴として「クマゲラ」という赤と黒の鳥がいます。AKABIRAベースも「クマゲラ」を模しており、いろいろ縁がありそうだという気がしています。

赤平市を盛り上げていく赤黒のイメージカラーやキーワードでまちおこしができたらステキだなと僕個人も思っています。

### みんなでまちづくり

**畠山市長** 今回、70周年で赤平市とコンサが協力連携を結ばせていただくきっかけの機会ですので、市内の子どもたちや大人の方にもサッカーに触れていただきたいと思います。

**鈴井会長** 個人的にもサッカーが好きでコンサを応援しています。



## 市制施行70周年 まちづくり特別対談





赤平市に住んでから、元サッカー選手などが幌岡の山に来ることがあり、市内の子どもさんに声をかけてサッカーをしたことがあります。

数年前、赤平の中学校にサッカー部がなく、サッカーをやりたい子は滝川市に行かなければならない状況に衝撃を受けました。全道的に、小さいまちは個人競技はできませんが、サッカーだけでなく、人数確保の理由で団体競技ができなくなってきました。子どもが団体競技をやりたくても環境がないので、能力がある子ども機会が無く埋もれてしまっていると感じています。

今回コンサと一緒にできるというところで、過疎化のまちの子どもたちがやりたくてもできないというハンデを少なくするきっかけにできたらと思っています。

**富山市長** 小中学校の子どもたちが団体競技に触れる機会が少ない厳しい時代になっています。人口減少でいたしかたないかもしれませんが、今回の取り組みにより市内の子どもたちや大人の方もサッカーに触れる機会ができ、可能性が広がると思っています。

**鈴井会長** 実際にサッカーを体験した人が少なくなっています。卓球やバドミントンなどの個人競技は遊びでもできますが、サッカーは競技に触れる機会が少ないというネットワークがあります。

そこで市民の方たちと一緒に遊べるツールとして、サッカーを考え、子どもや大人からお年寄りまで三代で楽しめるファミリリーサッカーの実施を考えています。危険が無く、健康づくりも含めて

株式会社CREATIVE OFFICE CUE  
取締役会長

赤平市長

富山 渉 × 鈴井 貴之氏

子どもから高齢者の方まで参加できるよう、シユートは子どもしか蹴れないとか、体のコンタクト(接触)が懸念されるので歩くサッカーにするなど、いろいろな世代の方が参加できる競技ルールをつくりたいです。芽室町からゲートボールが発祥したように、赤平市からファミリリーサッカーが全国に広がっていったらという構想があります。

サッカーを身近なものに感じてもらえる取り組みなど、赤平市を起点にしてすすめていけたらと個人的に考えております。

**富山市長** 委員会では、札幌ドームで行なうコンサドーレのホームゲームで市民観戦バスツアーを企画していると聞いていますが、どのようなイメージになりますか。

**鈴井会長** テレビ中継もあります。生のスタジアムで見ると、ボールを蹴る音や応援団の迫力があります。市民のみなさんにも札幌ドームにきていただきプロスポーツに触れていただければと思います。来ていただくからには、コンサが勝負試合を見てもらい盛り上がりたいたいだきたいですね。

**富山市長** 赤黒のまちづくりでコンサと協力連携を結んで、いろいろな事業展開を考えていると思いますが、今年はその他にどのような事業が展開されていくのでしょうか。

**鈴井会長** 委員会では、コンサ選手や元選手などを招いて地元の子どもたちと一緒にサッカーを楽しんでもらったり、トークショーで試合の裏話などをお聞きしたり、いろいろな事業を考えています。調印後、一年だけ事業をして終わるのではなく、赤黒のイメージのつきやすいまちですから活性に向けて一緒につくりあげていきたいと思っています。

サッカーの認知度もこれからまだまだ上がっていくと感じますので、手を取り合ってお互いを盛り上げていければと思います。

まちづくりの展開

**富山市長** 赤平市としてもコンサと協力連携を結び、委員会を中心として赤黒のイメージを広げていきたいと思えます。赤黒で新たなまちづくりの発想が生まれて、まちが盛り上がるのが期待できると思っています。赤黒の色を起点に、いろいろな発想が生まれてきそうですが、今後の展開などはありますか。

**鈴井会長** 何か一つでもコンサポーターのみなさんに注目してもらえようなまちづくりをしたいですね。市内の建物を赤と黒に塗って、くれるところはありますか。